

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 手関節リウマチに対する橈骨月状骨間固定術の臨床成績

[研究機関] 北海道大学病院整形外科

[研究責任者] 岩崎 倫政 （整形外科・准教授）

[研究の目的]

以前より破壊・変形の進行した手関節リウマチに対して、橈骨月状骨間固定術が行われ、良好な治療成績が報告されています。しかしながら、長期的には原疾患であるリウマチの活動性に応じて手関節の関節破壊が進行するため、関節可動域が減少するなどの問題点が指摘されております。近年のリウマチ治療薬の進歩により、リウマチによる関節破壊の進行を抑制することが可能な時代がやってきました。

本研究の目的は、リウマチ治療新時代において、手関節リウマチに対して橈骨月状骨間固定術を施行した患者さんの臨床成績を検討することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

手関節リウマチ患者さんで、平成7年1月1日から平成22年7月31日の間に橈骨月状骨間固定術を受けた方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見（手関節の疼痛、握力、関節可動域）、検査結果（血液検査、画像診断結果）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院整形外科 担当医師 本宮 真

電話 011-706-5937 FAX 011-706-6054